

8月9日(火)金沢ニューグランドホテルにおいて第1491回例会が開催されました。



直近のコロナ感染状況の悪化からテイクアウト弁当で短縮例会の形がとられました。本例会には、ライオンズクラブ 334-D 地区 4R3Z ゾーンチェアパーソンの米林正克 L. (金沢伏見 LC 所属)、同地区 4R3Z 副ゾーンチェアパーソンの乗地茂勝 L. (金沢みどり LC 所属)、同地区奉仕事業 (GTS) 委員の日谷潤 L. (金沢伏見 LC) をお招き致しました。

松尾会長の挨拶では、冒頭、他のクラブで例会を開催したことによりコロナ感染が広がった例を話され、7月例会を中止としたことのお詫を述べられました。結果的に中止の判断は間違っていないかのように思います。

今年度から新たに読書会を開催することとしたので参加を呼びかけられ、続いて組織のヒエラルキー(階級)について触れられ、本年は逆ピラミッドの組織形態で皆さんのために自分が一番下にいる。私たち理事メンバーが皆さんに対して何が出来るのかというスタンスで取り組んでいたいと想いを述べられました。

続いてゾーンチェアパーソンの米林正克 L.よりご挨拶をいただきました。東ライオンズクラブは金沢



13LC の中で模範的、リーダー的存在であり、本年度はじめに災害ボランティア三者協定の締結に尽力したことに

対しての御礼を述べられました。「ゾーンチェアパーソンは年4回開催される諮問委員会でガバナー方針を伝え、各クラブから上がってくる問題をキャビネットに伝える中間的な役割です。」「ガバナーは楽しくなければ LC ではない。LC を活性化して発展させていきたい」との想いであり、そのための3つの活動

目標として①地域に必要とされるクラブへ、例えばフードバンク活動など、②魅力あるクラブへ、③成長できるクラブについて述べられました。9月27日にはガバナー公式訪問を予定しており、記念のアクティビティとして社会福祉協議会への災害用テントと発電機の寄贈を検討している旨話されました。

引き続き松尾会長から堀岡昭夫 L.へ334複合地区アラート委員会



クラス長としての委嘱状が手渡されました。堀岡 L.のご挨拶では、昨年

の熱海土砂災害のアラート支援で備蓄しておいたタオルを先日の北陸の豪雨災害で被害のあった小松、能美、白山、今庄に支援することで有益に役立てることが出来たと報告がありました。

本年度のお誕生日の方には、これまで贈られていた花に替えてご本人が誕生した日に発刊された日付の新聞が、松尾会長のコメントに添えて贈られました。



委員会アワーでは、社会奉仕委員会の稲葉委員長は初めての計画委員会以外の配属で戸惑いがあると心境を語られ、青少年育成委員会の高藤委員長、地域環境委員会の中村(吉)副委員長、計画委員会の永野委員長より今年度の活動内容についての説明がありました。



最後は鳴崎テールツイスターが登場、ドネーションの発表の後、花火についての蘊蓄を披露され、クイズで終了となりました。

(記事 計画委員会)